

国指定史跡長柄桜山古墳群整備基本計画(案)パブリックコメントの結果

実施期間:平成22年10月15日～11月15日

意見総数:9件(提出人数:1人)

葉山町

No	関連項目	要望・意見の概要	町の考え方
1	全体	新桜山トンネルの供用が開始されているので、地形図に記載したほうが良い。	新桜山隧道については、本基本計画が対象とする整備範囲ではなく、また新たな地形図(都市計画図)もないため、隧道建設に伴い計画されている新設階段の概略の位置(予定)のみ図示しております。
2	2.長柄桜山古墳群の概要 (1)立地及び周辺環境	1)位置と地形に、「第2号墳前方部から西には相模湾を眺めることができ、」とあるが、「第2号墳前方部から西には相模湾をそして富士山を遠望することができ、」と記載した方が良い。	第2号墳前方部から富士山が眺望できることがわかる文言を加えます。
3	2.長柄桜山古墳群の概要 (1)立地及び周辺環境	図3の配色が強すぎて、地形図が分かりづらい。	基本計画書印刷にあたって配色を調整します。
4	5.全体計画	表5、及び表6の区分、対象地の順番について、左から「ふれあいゾーン、エントランスゾーン蘆花公園から第2号墳、エントランスゾーン第1号墳から葉桜団地」とあるが、左から「エントランスゾーン葉桜団地から第1号墳、エントランスゾーン蘆花公園から第2号墳、ふれあいゾーン」の順に記載した方が良い。	ご指摘のとおり、表記の順序を変更します。
5	6.個別計画 (1)発掘調査計画	第2号墳の発掘作業工程について、「ふれあいロード」が第2号墳墳丘上を通過しており、調査に支障が生ずるため、先行して南側斜面に「ふれあいロード」を変更して設置するようにしたほうが良い。	第2号墳の発掘調査は、11箇所の調査区を6ヵ年かけて行っていく計画であり、調査期間中の「ふれあいロード」は、調査区に応じて随時変更して設置することになると考えています。
6	6.個別計画 (2)遺構保存計画	墳丘斜面保護のためにコグマザサを植栽するところがあるが、コグマザサは根が浅く、斜面の表土を漑き取って補強土工を全面に施行するとすべり面ができ、浸透水による崩落が考えられる。現地で植生されている笹類で斜面の保護は可能である。	コグマザサは、動線以外への来訪者の立入りを抑制することを目的として植栽するものであり、この点において現生の笹類では十分な役目を果たせないものと考えております。また、保護盛土工については、斜面の崩壊等が発生しないよう設計段階で検討します。
7	6.個別計画 (4)環境保全計画	樹木の過度な伐採は風道をつくり、倒木の危険が高まるため、最小限に留めることが必要である。	樹木の具体的な伐採については、ご指摘の点も考慮しながら、本基本計画及び基本設計に基づき、整備実施設計段階で検討します。
8	6.個別計画 (5)活用施設計画	便所について、葉桜側の「エントランスゾーン」に接している市道には上下水道管及び電灯線が整備されているので、古墳の写真等の展示施設と便所を併設するよう努めてほしい。	葉桜側「エントランスゾーン」における便所をはじめとした活用施設の設置については、住宅地に隣接しているため、近隣住民の意向に十分配慮すべきであり、中長期的な課題としております。
9	6.個別計画 (6)園路計画	階段の構造について、山地部(とくに第2号墳の南側は急傾斜地崩壊危険区域)でもあり、連続性のコンクリート基礎等是不適である。階段は両側に擬木コンクリート杭を打ち、蹴上げは擬木コンクリート丸太等のフレキシブルな構造とすべきである。	墳丘に設置する階段は、墳丘に与える影響が少ない構造を前提としつつ、耐久性・安全性・維持管理のしやすさも考慮しております。詳細な構造は、平成23年度に予定している整備の実施設計段階で検討します。なお、第2号墳の個別計画については、発掘調査の結果を踏まえて改めて検討します。